

## 令和三年度 横浜市立みたけ台小学校 卒業証書授与式 式辞

校庭の桜のつぼみも少しずつ膨らみ始め、春らしさを感じられる今日の良き日に、令和三年度 みたけ台小学校 卒業証書授与式を挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さん一人一人と目を合わせて、卒業証書を渡せたことを、大変うれしく思います。とてもあったかい気持ちになりました。

卒業証書は、皆さんが六年間みたけ台小学校で学び、たくさんを経験し、頑張ってきた、成長の証です。今日まで皆さんを大切に育て、励まし、支えてくださった方々にこの卒業証書を見てもらい、「ありがとうございます」という感謝の心をぜひ伝えてください。感謝の心はとても大切です。

卒業にあたって、卒業生の皆さんにお伝えしたいことが三つあります。

一つ目は「多角的な視点、違った角度から物を見てみよう」ということです。角度を変えると、いつも見慣れているものでも違って見えます。視点を変えると、友達の意外な一面や気づかなかった魅力を見つけることができるかもしれません。また、変化の早い世の中にあって、今までと同じやり方・考え方ではうまくいかないことがたくさん出てきます。これからの世界を担う皆さんには視野を広げたり、柔軟な考えをもったりすることがとても重要です。小学校で学んだことを土台に、中学生でも、そしてそれ以降も、いろいろなことを学んでいながら、真似ではないオリジナル、ユニークさ、新しいものを作り出す創造力を大切にしてくださいね。

二つ目は、「いろいろな経験をしよう」ということです。「バーチャルの経験」も今後はますます広がっていくと思います。また、人から経験談を聴いたり映画を見たり本を読んだりする「間接の経験」も大事です。頭の中でのイメージを膨らませることで経験の幅は無限に広がっていくはずで、そして、やはり「直接の経験」。コロナ禍でしたが、修学旅行に行けて本当に良かったです。雪の日光の寒さはいい経験でしたね。華厳の滝は迫力満点でした。きらびやかな東照宮を見て歴史を感じました。直に見たり触れたりすることで大きな発見や感動がありますね。ぜひ、中学でも、自ら積極的に経験を増やしましょう。今までやったことがないから…と尻込みせず、やってみましょう。経験がさらに可能性を広げます。チャレンジしてください。

そして三つめは、コロナ禍だからこそその「人と人とのつながり」です。「コミュニケーション」や「気持ちのよいあいさつ あたたかいことば」を6年間大切にしてきたみたけ台小学校の皆さんですから、このことは今さら言うまでもないことかもしれません。皆さんと一緒に過ごしてきた中で、「授業に積極的に取り組む姿」や「ソーラン節にかける思い」、「下級生に見せる優しさ」。これらも印象的ですが、最も印象深いのは、「友達とたわいもないやり取りをしているときの笑顔」や「休み時間や下校の時に担任の先生方と楽しそうに話す姿」です。授業や行事、日常の生活の積み重ねを通して、皆さんも先生も、お互いに理解し合って信頼を強め、絆を深めていったからこそだと感じます。皆さんは今日、みたけ台小学校を卒業しますが、これまで培ったつながりを大切にしつつ、新たな出会い・新たなつながりを大切にしてください。

以上「多角的な視点」「いろいろな経験」「人と人とのつながり」という三つのことを、よろしく願います。

これからは、皆さんと毎日顔を合わせることがなくなるけれど、遠くから、皆さんのことを応援しています。夢や目標を大きく持ち、身体とこころの健康と笑顔を大切に頑張ってください。明るく元気な皆さんのことが大好きです。皆さんの成長、活躍を楽しみにしています。

保護者の皆様、お子様の卒業、誠におめでとうございます。この六年間、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことに、こころより感謝を申し上げます。ありがとうございました。小学校を卒業してもまだまだ子ども。しっかりと自分に向き合ってくれる大人の存在、困っているときに自分を支えてくれるという信頼関係はこれからも大変重要になります。お子様が立派に成長し、活躍されることを、みたけ台小学校教職員一同、心より願っております。

また、この場にご臨席を賜ることができませんでしたが、地域の皆様におかれましては、今までいろいろな角度から子どもたちを支え、応援していただきありがとうございました。これからも、子どもたちへの応援と本校教育活動に対する変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

希望にあふれる卒業生の前途を祝しまして、式辞とさせていただきます。

令和四年 三月 十八日

横浜市立みたけ台小学校 校長 羽田 敏隆